

くすのき



岡本小学校 学校だより

No. 1

令和4年4月13日

『生き生き学校2』

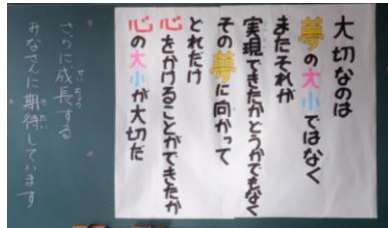


《学校教育目標》 夢に向かって未来を拓く『おかもとの子』の育成

生き生き学校2

令和4年度が始まりました。花壇には、チューリップや日本水仙が色とりどりに咲き誇り、見ているだけで活力がみなぎってくるようです。

4月5日には、2棟1階の窓に張り出された新しい学級の名簿を見て、子どもたちは新しい自分の教室に入っていました。年度初めの恒例の光景ですが、中には、新しい学級、新しい先生に思いを馳せ、ドキドキしてよく眠れなかった子もいたことでしょう。各教室の黒板には一つ進級したばかりの子どもたちへ、新担任からの温かなメッセージが用意されていました。



着任式では、新しい先生方5名（詳細は裏面参照）をお迎えしました。続く始業式では、校長から子どもたちへ「自分パワーとクラスパワーを高めよう」という話をしました。

「自分パワー」を高めよう！

どんな自分になりたい？ たとえば…

- ① もいやりパワー
ともだちの悪口をいわない自分
誰とでも遊べる自分
- ② しこさパワー
お話を聞ける自分
考えて発表する自分
- ③ くひょうパワー
早寝早起きができる自分
運動や勉強をがんばる自分
- ④ もだちパワー
進んで挨拶ができる自分
友だちを助けられる自分

「クラスパワー」を高めるよう！

どんなクラスにしたい？ たとえば…

- ちがいを認め合うクラス
- 失敗を責めないクラス
- 目標におかかってがんばれるクラス

今年度、岡本小学校は、『生き生き学校2（ツニー）』を合言葉に、「認め合い、学び合い、共に高めあう学校」を創っていきます。すべての子どもが共に学ぶ中で、様々な違いを違いとして認め合い、「自分パワー」や「クラスパワー」を高めていくことは、生き生きと幸せに生きていく力につながると信じています。

「すべての教職員がすべての子どもを育てる」という意識をもち、子どもたちが様々な考えを認め合い、かかわり合いを深められるように、日々の授業や学級づくりを充実させていくことを、全教職員で共有しました。

未来ある子どもたちの幸せのために、今年度も保護者、地域の皆様のご支援を、よろしくお願いいたします。

加藤 徹教頭が異動しました。4月6日の離任式の際、『岡本小学校の良さ』について、こんなお話をしてくれました。

遅刻した子が教室に入るところを見かけました。普通に「おはようございます」と言っていると、クラスの友達も普通に「おはよう」と返事をして、その後何事もなかったように授業が続けられました。

一方、遅刻をして教室に入りづらそうな子が、黙ってそうっと入り自分の机に座りました。友達は気づいているけれど、気づかないふりをして何も声をかけませんでした。

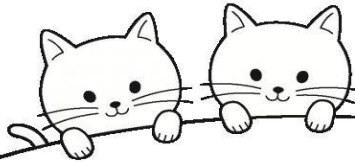
さて、これはどちらが正しいのでしょうか？

正しいかどうかを考えることは、とても大切なことです。でも、長い人生の中、誰でも悩んで落ち込んでうまくいかないことがあります。そんな時、周りの人が、その人の立場に立って、その人に合った行動をしてあげれば、きっとその人は立ち直って前向きに生きることが出来ます。

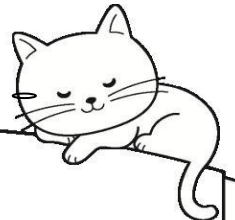
あなたたちには、その「相手の立場になって考える力」が、確実に育っています。

令和4年度岡本小学校教職員

公開期限終了のため削除いたしました



わたしのひとりごと…



校長室にある胡蝶蘭が、三年ぶりに花芽を出しました。「もうだめかもしれない」と、あきらめかけていた矢先だったので、とても嬉しくなりました。一年目は、「何とか咲かそう」と、毎日水やりをしたり、土に栄養を与えたり、過保護と言われるくらいにお世話をしていました。しかし、こちらの思いは届かず、全く芽を付ける気配はありませんでした。

「胡蝶蘭は生命力が強く少ない栄養でも成長できるから、手のかけすぎはよくない。」と聞き、二年目からは、時々水をやるくらいのお世話に切り替えました。手をかけない代わりに、風通しが良く目が行き届く場所に鉢植えを移動しました。そして迎えた三年目、やっと可愛い花芽をつけたのです。

やっと出会えた花芽を見ると、「子育てもこれに似ているな」と思えてきます。親は、「こんな子どもになってほしい」と切に願い、手をかけ、目をかけ、必死に子育てをしています。しかし、思うようにいかないことも多々あります。そんなときには、少し手を引き子どもに任せてみたり、第三者の意見を聞いてみたり…今の子どもの状況にあわせて、愛情のかけ方に変化を加える必要がありますね。

子どもたち一人ひとりには、強い生命力と個性があります。「愛情」という栄養を適切にかけてやることで、きっとこれからいくつもの花芽を出すことでしょう。

今年度も、校長として岡小の子どもたちの成長に関わらせていただけることに感謝をし、学校だよりをお届けいたします。岡小の近くをお通りの際には、お気軽に校長室にお立ち寄りください。共に悩み、共に子育てをしていきましょう。